

平成 11 年 11 月 11 日

アナリスト・コンセンサス情報提供を開始

インターネット・トレーディング専門証券会社のディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役社長：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJdirect」）は、トムソンコーポレーション株式会社（Managing Director：Dan Videtto、本社：東京都千代田区）の事業部の 1 つであるファーストコールのアナリスト・コンセンサス情報サービスのホームページ上での提供を 11 月 11 日より開始します。

ファーストコールのアナリスト・コンセンサス情報とは、有力ブローカー 31 社のアナリストのリサーチ・レポートを収集・統合・集計し、平均値や分布などによって個別株式銘柄のトレンドを示すものです。具体的には、売買推奨や収益予想などの情報があります。個別株式銘柄の現在の投資パフォーマンスや過去からの推移、今後の予想などをひとつの見方に偏ることなく客観的に把握することができます。

DLJdirect が提供する情報は、ファーストコールが日本の個人投資家向けに開発したものです。ファーストコールの日本におけるアナリスト・コンセンサス情報配信の第 1 弾となります。対象銘柄は、日本株式（東証、大証、店頭登録株 約 2,500 銘柄）と米国株式（NYSE、NASDAQ の内、DLJdirect 取扱い予定約 100 銘柄）が対象となります。

1) 日本企業データ（別紙 参照）

「強気買い」「買い」「保留」「売り」などのレーティング（推奨）と EPS（1 株当たり利益）の情報を提供します。レーティングについては、複数アナリストによる現在のレーティングの分布図、及び過去半年間のレーティング平均値の推移チャートがあります。また、EPS については、前後各 2 年分の年間 EPS の数値グラフと今年及び来年の予想 EPS の平均値を提供します。

2) 米国企業データ（別紙 参照）

複数のアナリストによる収益予想の平均値を提供します。EPS 予想の平均値や、その値の過去 30 回の修正状況、対前年度の EPS 成長率の同一業界・主要企業との比較、コストパフォーマンス予想などがあります。

今回提供を始めるレーティング・EPSの過去からの推移や将来の予想などの情報を加えることで、DLJ*direct* ユーザーのより効率的な投資判断に役立つものと期待しています。

ファーストコールは世界の金融機関に情報サービスを提供するトムソン ファイナンシャル（本社：米国マサチューセッツ州）の一員で、ドイチェ証券、メリルリンチ証券、モルガン・スタンレー証券、ソロモン・スミス・バーニー証券等欧米の大手9証券会社が48%出資しており、残りの52%はトムソンファイナンシャルの親会社である、カナダのトムソン コーポレーションが所有しています。ファーストコールはアナリスト・リサーチ情報配信の最大手の1社で、米国では20年前より機関投資家を対象にリサーチレポートを提供しています。日本においても10年前より機関投資家向けに情報を提供していますが、個人投資家向けに情報を提供するのはDLJ*direct*のサイトが初めてとなります。

DLJ*direct* は、本年3月にDLJ*direct* Japan Holdings Inc.と住友銀行、住友海上火災保険、住友商事、住友信託銀行、住友生命保険、大和証券グループ本社、インターネットイニシアティブが共同設立、6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。